

後腹膜・腹膜腫瘍

大阪大学医学部附属病院

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日				各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数		手術	化学療法	放射線療法	
泌尿器科	24	15	状況	○	○	×	患者さんのQOLを重視した集学的治療を行います
			実績	あり	あり	なし	
放射線治療科	4	0	状況	×	×	○	
			実績	なし	なし	なし	
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			○		昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日		転移性後腹膜腫瘍、原発性後腹膜腫瘍

市立豊中病院

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日				各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数		手術	化学療法	放射線療法	
泌尿器科	7	6	状況	○	○	○	患者さんのQOLを重視した集学的治療を行います
			実績	あり	あり	あり	
放射線科	6	6	状況	×	×	○	
			実績	なし	なし	あり	
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			○		昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日		後腹膜腫瘍

市立池田病院

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日				各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数		手術	化学療法	放射線療法	
外科	11	4	状況	○	○	×	
			実績	あり	あり	なし	
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			○		昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日		腹膜転移

済生会吹田病院

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日				各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数		手術	化学療法	放射線療法	
泌尿器科	4	3	状況	○	○	×	膀胱がん、前立腺がん、腎がんなど尿路・性器腫瘍の患者さんが多く、膀胱がんは約90%に経尿道的切除術、前立腺がん手術は主に小切開による開腹手術、腎がんは可能な限り腹腔鏡下手術、腎温存手術を施行しています。病状や術後のQOLに考慮し、丁寧な診療と親切な説明を先ず心がけ、診療にあたっています。
			実績	あり	なし	なし	
産婦人科	12	1	状況	○	○	○	悪性腫瘍については、日本臨床細胞学会指導医、日本産婦人科腫瘍学会指導医、日本癌治療学会がん治療専門医があり、広汎性子宮全摘術、卵巢癌根治術など積極的に進行癌の治療を行っています。また、化学療法に関しては日本産婦人科学会(JSGO)、NPO日本婦人科悪性腫瘍化学療法研究機構(JGOG)や三海婦人科学会(SGSG)などにも加盟し、各種の臨床研究に参加しながらスタンダード化学療法を行っています。
			実績	あり	あり	なし	
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			×		昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日		後腹膜腫瘍、腹膜腫瘍、腹膜がん

済生会千里病院

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日				各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数		手術	化学療法	放射線療法	
消化器外科	8	4	状況	○	×	×	可能な限り早期の手術を心がけています。特殊な疾患については、化学療法は他院の血液内科に依頼しています。
			実績	あり	なし	なし	
泌尿器科	3	3	状況	○	×	×	まれな疾患であり、治療方法が未確立であることが多く、治療を行うことが、困難である。
			実績	なし	なし	なし	
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			×		昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日		後腹膜腫瘍

箕面市立病院

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成22年1月1日～12月31日			各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法	
外科	8	1	状況 実績	○ あり	○ あり	× なし
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日		

市立吹田市民病院

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成22年1月1日～12月31日			各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法	
外科	12	6	状況 実績	○ なし	○ なし	○ なし
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日		

大阪医科大学附属病院

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成22年1月1日～12月31日			各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法	
泌尿器科	11	5	状況 実績	○ あり	○ あり	× なし
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日		後腹膜腫瘍、腹膜腫瘍

高槻赤十字病院

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成22年1月1日～12月31日			各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法	
消化器外科	6	6	状況 実績	○ なし	○ なし	○ なし
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			×	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日		標準的手術治療の提供、外来化学療法室の完備、緩和ケア科による終末期医療の充実により患者様を大切にす医療を実践しています。

愛仁会高槻病院

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成22年1月1日～12月31日			各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法	
消化器外科	7	2	状況 実績	○ なし	○ なし	× なし
消化器内科	13	9	状況 実績	× なし	○ あり	× なし
放射線治療科	1	1	状況 実績	× なし	× なし	○ なし
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日		転移性腹膜腫瘍(放射線治療)

関西医科大学附属枚方病院

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成22年1月1日～12月31日			各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法	
消化器外科	23	9	状況 実績	○ あり	○ あり	× なし
放射線治療科	18	2	状況 実績	× なし	× なし	○ なし
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日		後腹膜腫瘍、腹膜播腫瘍

星ヶ丘厚生年金病院

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成22年1月1日～12月31日				各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法		
産婦人科	2	2	状況実績 ×	○	×		
			なし	あり	なし		
泌尿器科	6	6	状況実績 ○	○	○		
			なし	なし	なし		
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			×	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日		腹膜がん	

東大阪市立総合病院

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成22年1月1日～12月31日				各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法		
泌尿器科	6	4	状況実績 ○	○	○	日本泌尿器科学会認定の泌尿器科専門医が4名在籍しています。	
			あり	なし	なし		
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日		後腹膜褐色細胞腫	

八尾市立病院

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成22年1月1日～12月31日				各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法		
腫瘍内科	3	3	状況実績 ○	○			
				あり			
放射線科	2	2	状況実績 ○		○		
					あり		
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日		後腹膜脂肪肉腫、高腹膜悪性腫瘍、腹膜がん	

若草第一病院

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成22年1月1日～12月31日				各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法		
外科	5	5	状況実績 ○	○	○	手術中の迅速病理組織診断を行うことができます。より侵襲性の少ない手術を心がけております。	
			なし	なし	なし		
放射線科	3	3	状況実績 ×	×	○	平成23年8月よりリニアックが再稼動となりました。各診療科と連携し治療を行います。	
			なし	なし	なし		
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			

近畿大学医学部附属病院

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成22年1月1日～12月31日				各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法		
泌尿器科	11	8	状況実績 ○	○	×		
			あり	あり	なし		
産婦人科	15	4	状況実績 ○	○	×	臨床試験を含む新規治療の適応	
			あり	あり	なし		
放射線治療科	8	3	状況実績 ×	×	○		
			なし	なし	あり		
腫瘍内科	20	10	状況実績 ×	○	○		
			なし	あり	あり		
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日		腹膜がん、後腹膜腫瘍、腹膜腫瘍	

国立病院機構  
大阪南医療センター

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日			各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数	手術	化学療法	放射線療法	
産婦人科	6	2	状況	○	○	○
			実績	なし	なし	なし
外科	10	2	状況	○	○	○
			実績	なし	なし	なし
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日		

富田林病院

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日			各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数	手術	化学療法	放射線療法	
外科	6	2	状況	○	○	×
			実績	なし	なし	なし
泌尿器科	3	3	状況	○	○	×
			実績	なし	なし	なし
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			×	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日		

大阪労災病院

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日			各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数	手術	化学療法	放射線療法	
泌尿器科	7	6	状況	○	○	×
			実績	あり	あり	なし
産婦人科	8	1	状況	○	○	×
			実績	あり	あり	なし
放射線治療科	1	1	状況	×	×	○
			実績	なし	なし	なし
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日		腹膜がん

ベルランド総合病院

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日			各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数	手術	化学療法	放射線療法	
外科	15	15	状況	○	○	○
			実績	なし	なし	なし
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日		

市立堺病院

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日			各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数	手術	化学療法	放射線療法	
外科	14	2	状況	○	○	
			実績	なし	なし	
泌尿器科	4	3	状況	○	○	
			実績	なし	なし	
放射線治療科	1	1	状況			○
			実績			なし
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日		なし

市立岸和田市民病院

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日				各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数		手術	化学療法	放射線療法	
外科	6		状況	○	○	×	
			実績	なし	なし		
消化器内科	10	10	状況	×	○	×	
			実績		なし		
泌尿器科	2	2	状況	○	○	×	
			実績	なし	なし		
腫瘍内科	3	3	状況	×	○	×	
			実績		なし		
放射線科 (放射線治療)	4		状況	×	×	○	
			実績			なし	
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)		×	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日				

りんくう総合医療センター

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日				各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数		手術	化学療法	放射線療法	
外科	10	2	状況	○	○	×	りんくう総合医療センター外科は昭和27年開設以来、一般外科、消化器外科、内分泌外科(甲状腺・乳腺)、小児外科、肺縦隔外科(2005年4月より呼吸器外科として独立)の診療を行ってきました。過去56年の実績を基に、現在は大阪大学消化器外科、乳腺内分泌外科、小児外科学教室と、スタッフの派遣のみならず診療、研究、教育の各分野で密に交流しています。
			実績	あり	あり	なし	
泌尿器科	4	4	状況	○	○	×	泉州地域で数少ない泌尿器科疾患の入院加療が可能な施設として、泌尿器がんの診断と治療に全力を挙げて取り組んでいます。増加の著しい前立腺がんにつきましては、通常の開腹手術による根治手術を実施し、また腎がんの手術につきましては平成18年より和歌山県立医科大学泌尿器科のスタッフを招聘し、腹腔鏡手術も施行しております。
			実績	あり	あり	なし	
放射線治療科	1	1	状況	×	×	○	りんくう総合医療センターの開設に伴い新しい診療科として診療を始めました。最新の放射線診療機器をそろえた中央放射線部の中心的な働きを行う診療科です。診療業務として放射線画像診断、放射線治療、カテーテル治療を行います。病診連携を軸に放射線外来診療を行います。
			実績	なし	なし	あり	
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)		○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日				後腹膜腫瘍

岸和田徳洲会病院

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日				各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数		手術	化学療法	放射線療法	
外科	1	1	状況	○	○	○	
			実績	あり	あり	あり	
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)		○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日				後腹膜腫瘍、腹膜腫瘍

市立貝塚病院

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日				各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数		手術	化学療法	放射線療法	
外科	8	0	状況	○	○	×	原発性の腹膜腫瘍は腹膜上皮腫と呼ばれる悪性腫瘍が代表的で比較的まれな疾患です。そのた、腹腔内に粘液のような物質が限局性またはびまん性に増殖する比較的悪性度の低い腹膜偽粘液種や腹腔の中で後腹膜腔に発生する良性、悪性のさまざまな後腹膜腫瘍などが含まれます。後腹膜腫瘍とは後腹膜領域(腹部後方)発生した腫瘍の総称で悪性腫瘍としては悪性リンパ腫や脂肪肉腫、平滑筋肉腫、繊維肉腫などがあります。手術、放射線療法、化学療法など病理組織型により主たる治療法は異なります。また、それらを組み合わせで行うことも多くあります。
			実績	なし	あり	なし	
産婦人科	5	0	状況	○	○	×	
			実績	あり	あり	なし	
放射線科	4	1	状況	×	×	○	
			実績	なし	なし	なし	
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			後腹膜腫瘍

大阪市立総合医療センター

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日				各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数		手術	化学療法	放射線療法	
消化器外科	14	4	状況	○	×	×	
			実績	あり	なし	なし	
肝胆膵外科	3	3	状況	○	×	×	
			実績	あり	なし	なし	
臨床腫瘍科	5	5	状況	×	○	×	
			実績	なし	あり	なし	
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			後腹膜腫瘍

北野病院

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日				各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数		手術	化学療法	放射線療法	
産婦人科	9	5	状況	○	○		腹膜癌もしっかりと組織診断を行い、的確な治療を施行しています。
			実績	あり	あり		
消化器外科	10	2	状況	○	○		
			実績	あり	あり		
消化器内科	19	2	状況		×		後腹膜腫瘍の診断には、EUS-FNAを難治性の腹水(肝硬変及び癌による腹水は除く)に対しては腹腔鏡による診断を行い確定診断をつけて適切な治療を行うよう心がけています。
			実績				
放射線科	8	2	状況			○	
			実績			なし	
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			×	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			後腹膜腫瘍、腹膜癌

住友病院

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日				各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数		手術	化学療法	放射線療法	
消化器内科	6	5	状況	×	○	×	当科では消化器に関する多くの疾患に対応出来る よう、スタッフそれぞれの専門性を活かし、レベル の高い臨床をめざしています。外科・放射線科との 緊密な協力体制のもとに診断・治療を行っています。
			実績	なし	なし	なし	
消化器外科	11	8	状況	○	○	×	当科では癌の進行度に応じて、内視鏡的治療、手 術治療、化学療法や免疫治療などから最も効果的 な治療法を選択し、症例に応じてそれらを組み合 わせて行っています。
			実績	なし	なし	なし	
放射線科	5	1	状況	×	×	○	このたび住友病院では、最新、最高峰の直線加速 器「CLINAC iX」(米国Varian社製)を導入いたしまし た。これにより今日の最先端である様々な高精度 放射線治療が可能となります。最新の装置を用 い、放射線治療を受ける患者様の負担をできる だけ軽減しつつ、最大限の効果をもたらすような治療 を常に目指していきたいと考えております。
			実績	なし	なし	なし	
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)		○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日				

大阪府立成人病センター

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日				各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数		手術	化学療法	放射線療法	
婦人科	7	2	状況	○	○	×	大阪府下の婦人科癌治療の中核として、婦人科領 域の悪性腫瘍を中心に、婦人科疾患の診断と治療 を行っています。
			実績	あり	あり	なし	
消化器外科	12	3	状況	○	×	×	個々の症例の病期に適応した手術および併用療 法を行っています。
			実績	あり	なし	なし	
放射線治療科	6	2	状況	×	×	○	近年の放射線治療の急速な進歩を背景にさまざま な高精度照射を導入し、がんの3大治療(外科手 術、化学療法、放射線治療)の1つとして院内では 他科と協同して集学的治療の一端を担う一方、 病々連携、病診連携を通じて院外のがん患者さん の治療も積極的に受け入れております。
			実績	なし	なし	あり	
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)		○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			腹膜腫瘍	

大阪赤十字病院

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日				各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数		手術	化学療法	放射線療法	
消化器科	28	22	状況	○	○	×	外科の連携の上、早期期においてはまず内視鏡 治療を行っており、ESDも積極的に施行していま す。進行例で切除不能例に対しては化学療法を施 行しています。
			実績	あり	あり	なし	
外科	22	10	状況	○	○	×	消化器科医と協力の下、手術及び内視鏡的治療 (TAE,PEIT,MCT,RFA)を組み合わせた集学的治療 を行っています。
			実績	あり	あり	なし	
放射線治療科	2	2	状況	×	×	○	高精度放射線療法を用いた癌根治療法を積極的 に行っています。放射線治療の効果を最大限に引 き出しながら、患者さまへの負担を最小限に抑える ためにRapid Arc(回転しながら行うIMRT)による 治療も開始しました。
			実績	なし	なし	あり	
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)		○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			後腹膜腫瘍	

済生会野江病院

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日				各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数		手術	化学療法	放射線療法	
消化器内科	2	2	状況	×	○	○	
			実績	なし	あり	なし	
外科	3	3	状況	○	○	○	
			実績	あり	あり	なし	
婦人科	2	2	状況	○	○	○	
			実績	あり	あり	なし	
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)		○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			後腹膜腫瘍、腹膜腫瘍	

大手前病院			当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数				治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日			各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数		手術	化学療法	放射線療法				
放射線科	1	1	状況	×	×	○				
			実績	なし	なし	なし				
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			×	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日						

大阪警察病院			当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数				治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日			各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数		手術	化学療法	放射線療法				
外科	10	2	状況	○	○					
			実績	あり	あり					
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			×	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日						

愛仁会千船病院			当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数				治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日			各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数		手術	化学療法	放射線療法				
外科	5	3	状況	○	×	×				
			実績	なし	なし	なし				
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日						

きこう会多根総合病院			当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数				治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日			各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数		手術	化学療法	放射線療法				
外科	15	14	状況	○	○	○				
			実績	あり	なし	なし				
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日						

大阪市立大学医学部附属病院			当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数				治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日			各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数		手術	化学療法	放射線療法				
泌尿器科	13	10	状況	○	○	○				
			実績	あり	あり	あり				
放射線治療科	5	3	状況	×	×	○				
			実績	なし	なし	あり				
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			後腹膜腫瘍, 神経鞘腫, 悪性中皮腫			

景岳会南大阪病院			当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数				治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成22年1月1日～12月31日			各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数		手術	化学療法	放射線療法				
外科	6	0	状況	○	○	×				
			実績	あり	あり					
集学的治療の実施状況 (○:実施/×:未実施)			×	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			後腹膜腫瘍, 腹膜腫瘍			



府立急性期・総合医療センター

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況（○：実施可/×：実施不可） /昨年の実績（あり/なし）※平成22年1月1日～12月31日				各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数		手術	化学療法	放射線療法	
消化器内科	12	8	状況	×	○	○	消化器内科は消化器領域の救急疾患および高度医療を要する(難治性疾患や癌など)の疾患を中心にしながら幅広く診療しています。
			実績	なし	あり	なし	
外科	17	4	状況	○	○	○	頭・胸・腹部臓器疾患のうち外科的処置を必要とする疾患を対象としています。 「大阪府がん診療連携拠点病院」として、がんの診断と治療を行っています。 ※ 関係各科および部署(画像診断科、消化器内科、呼吸器内科、放射線治療科、頭頸部外科(耳鼻咽喉科)、病理科など臨床腫瘍医を含む腫瘍部門)との協議のもとに、治療方針を決定しています。
			実績	あり	あり	なし	
集学的治療の実施状況 (○：実施/×：未実施)			×	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			後腹膜腫瘍、腹膜腫瘍

大阪鉄道病院

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況（○：実施可/×：実施不可） /昨年の実績（あり/なし）※平成22年1月1日～12月31日				各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数		手術	化学療法	放射線療法	
外科	8	3	状況	○	○	×	患者さんの術後のQOLの向上に重点を置いた治療に努めています。
			実績	あり	あり	なし	
消化器内科	7	2	状況	×	○	×	消化器がんについては、他の診療科と連携し、患者さんのQOLを重視した、低侵襲な治療を心がけています。
			実績	なし	なし	なし	
放射線科	2	2	状況	×	×	○	放射線治療は、がんに対する集学的治療として他の診療科と連携しながら実施します。
			実績	なし	なし	なし	
集学的治療の実施状況 (○：実施/×：未実施)			○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			後腹膜腫瘍

東住吉森本病院

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況（○：実施可/×：実施不可） /昨年の実績（あり/なし）※平成22年1月1日～12月31日				各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患 を専門とし ている医 師数		手術	化学療法	放射線療法	
外科	7	5	状況	○	○	×	消化器外科専門医、肝胆膵外科高度技能指導医が中心となって手術を行っています。腫瘍摘出術のみならず、肝臓や下大静脈など他臓器合併切除にも対応しています。
			実績	あり	なし	なし	
集学的治療の実施状況 (○：実施/×：未実施)			○	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			神経鞘腫